

## 2 ページ

### Basic Information / 基本情報

#### Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2013年11月24日(日) 10:00～18:00 (開場 9:30～)

2013年11月26日(火) 19:00～21:30 (開場 18:00～)

#### Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

25MEMBERS

#### Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

講演者 乙武洋匡

地元経営者団体 2 団体

福山市

福山商工会議所

福山市観光協会福山市教育委員会

地元新聞社 7 社

地元 FM 局

地元雑誌 1 社

福山キワニスクラブ

国際ソロプチミスト福山

福山市商店街振興組合連合会

福山市社会福祉協議会

#### Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

\$ 44,924.27-

#### Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

・NONE（特になし）

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

福山に住み暮らす人々47万人

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

目的は、市民にポジティブチェンジを促して、地域社会の発展（地域開発）に積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造（CREATE）することである。

そのためには、市民が下記のポジティブチェンジすることが必要である。

- ①積極的、能動的に活動すれば、まちを変革させることのできることに気付く。
- ②地域社会が発展するためには、自らが行動しなければならないという自覚を持つ。

JCI 福山は、以下の方法で市民がポジティブチェンジするための機会を提供する。  
我々は、多くの市民を集めて意識を変革するためのフォーラムを開催した。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

我々は、現在実施されている講義形式のみでの従来型まちおこしセミナーでは学んだ対象に対して考えるという一時的な知識を付与することはできるが、市民が継続的かつ能動的にまちのために動くポジティブチェンジを引き起こすことは困難であると考えた。

市民に多くのポジティブチェンジを引き起こすため我々は以下の事業を実施した。

- ① 我々は、行政、福山に存在する民間団体2つと連携し、共同で事業を運営した。
- ② 1日目には、様々な市民へ興味を与えるために9種類の分科会を設定しブース出展を行った。
  - A. 『思うは招く』～夢があればなんでもできる～・・・民間企業のロケットの開発を題材に、市民に夢はかなえることができることを伝えた。
  - B. 『環境が生み出す人のつながり』・・・市民に建物を再生するという目標から、人のつながりをつくり街を活性化させる活動への参加を促した。

- C. 『あいサポート運動』・・・市民に障がいのある方への手助けの方法を伝え、実践を促した。
- D. 『福山の歴史から学ぶ』～福山を好きになる～・・・市民が、まちの歴史を振り返り、これからの魅力あるまちにするために討論した。
- E. 『子ども寺子屋塾』～輝く学びの土台を創る教室～・・・子供たちに「論語」の指導を通して、学習習慣を身に付けさせた。OMOIYARI を伝えた。
- F. 『ふくめく体験会』・・・カードゲームを通して、まちの歴史と文化を学んだ。
- G. 『子供に夢を与えるマジック』・・・マジックを通して、子供たちに夢は実現することを伝えた。
- H. 『夢、目標を持つこと意欲を持つことの大変』・・・市民に不登校の子供や障害のある子供が学校教育を受けることができるように支援する取り組みを伝えた。
- I. 『福山の魅力発信ブース』～I LOVE FUKUYAMA 発掘広場～・・・市民へ福山市を題材にした絵本とお土産を知ってもらい、魅力として認識してもらった。
- ③ 2日目に乙武氏による「夢をカタチに」というテーマの講演を行い。続いて、乙武氏、羽田市長によるパネルディスカッションを実施した。
- ・乙武氏は、生まれつき四肢がないというハンディキャップを抱えながら、自身の夢を次々と実現させています。乙武氏に自身の夢を実現させるための原動力について講演して頂くことで、市民にポジティブティンジするための力を与えました。
  - ・市長と乙武氏との対談では、市民がポジティブチェンジして、まちづくりに参加してもらうことの楽しさと重要性を話して頂きました。

以上のことから、我々は取捨選択できる複数のブース出展と基調講演により、参加者にまちについて考える機会と自らが運営に関わり能動的にまちづくりに携わることのできる可能性を示唆した。

## Result 結果

- 説明：複数の短い文章になるように注意してください
- 目的がどのくらい達成できたか書いてください
- 上記の結果の想定外の結果を書いてください
- 上記の結果の確認方法を書いてください
- 検証結果を簡潔に書いてください

JCI 福山は、市民のポジティブチェンジを引き起こし、地域社会の発展（地域開発）に積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造した。

- ①地域社会を発展させるために、自らフォーラムの運営に参加する市民が増えた。
- ②前年よりも地域社会の発展について、関心を持つ市民が増えた。

それは下記のアンケートと動員結果から分かる。

- ①フォーラムの参加者に対するアンケートをした結果。

市長と乙武氏の対談を聞いて、協働のまちづくりに関して理解・自覚ができたという回答は 70%でした。

また、乙武氏の講演を聞いて、能動的に動けば変革することが出来ると感じたという回答は 90%でした。

- ②市民が地域社会について関心を持つようになり、事業全体で昨年より 276 名増加し、2,420 名の来場があった。

1 日目の分科会には 377 名の来場があった。（前年 254 名）

2 日目の講演には 2,043 名の来場があった。（前年 1,890 名）【この数字は会場が満席になる程の数である。】

## Actions Taken 行動

説明：

- 1月24日 セミナー会場決定
- 2月下旬 3団体打合せ
- 3月12日 第1回福の山フォーラム実行委員会開催
- 4月3日 第2回福の山フォーラム実行委員会開催
- 4月3日 第1回講師打合せ
- 4月3日 分科会会場決定
- 5月15日 第3回福の山フォーラム実行委員会開催
- 5月下旬 諸団体との打ち合わせ実施
- 6月26日 第4回福の山フォーラム実行委員会開催
- 6月下旬 チラシなどの検討
- 6月下旬 福山市長への参加依頼
- 7月18日 第5回福の山フォーラム実行委員会開催
- 8月中旬 第2回講師打合せ
- 8月19日 第6回福の山フォーラム実行委員会開催

8月19日 福山市との打ち合わせ実施  
8月23日 第3回講師打合せ  
8月下旬 チケット印刷  
9月2日 チラシ原案作成  
9月5日 福山市長との打ち合わせ実施  
9月中旬 チラシチケット配布開始  
9月中旬 プレスリリース  
11月24日・26日 開催

### Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？  
達成できなかった部分は、何か？  
それは、なぜか？その改善策は？

JCI 福山は、自らまちのために想い、考え行動する ACTIVE CITIZEN を創造することに成功した。

- ①講演と9種のブース出展を実施することにより、参加する市民の裾野を広げた
- ②9種のブースでの講演とグループワークで自ら動く大切さを伝えた
- ③基調講演とパネルディスカッションにより自らが思い描いたまちづくりの夢は実現させることができると認識させた。

部門 Long term Local Community program

3 ページ

### Objectives Planning Finance and Execution

目的・計画・財務・実施

### What were the long term objectives of this program

このプログラムの目的は？基本情報に詳述して下さい

目的は、市民にポジティブチェンジを促して、地域社会の発展（地域開発）に積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造（CREATE）することである。

そのためには、市民が下記のポジティブチェンジすることが必要である。

- ①積極的、能動的に活動すれば、まちを変革させることのできることに気付く。
- ②地域社会が発展するためには、自らが行動しなければならないという自覚を持つ。

JCI 福山は、以下の方法で市民がポジティブチェンジするための機会を提供する。  
我々は、多くの市民を集めて意識を変革するためのフォーラムを開催した。

#### How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように J C I の活動計画と合っていますか？

地域社会を発展させるために、積極的に関わる ACTIVE CITIZEN を創造（CREATE）するための基礎をつくった点で JCI の活動計画と合致する。

地域社会を発展させるためには、能動的に行動する市民の継続的な育成が必要である。

そのためには、市民がポジティブチェンジするための機会の提供が必要である。

そこで地域の民間団体と連携して、事業を創り上げることで ACTIVE CITIZEN になれる機会を提供した。

#### Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理のための効果的なガイドになりましたか？

YES

より多くの市民にポジティブチェンジをするための機会を与えるために、参加費を低減した。

その為に、長年の行政との信頼関係によって、数カ所の会場費を無料で使用した。

#### How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は、J C I のミッションと、ヴィジョンを推進しましたか？

ビジョンとミッションに分けて明確に詳述してください

・ JCI ミッション

JCI 福山は市民に能動的に動くことで夢は実現できるというポジティブチェンジの機会を与え、彼らは能動的に動く市民として成長した。

・ JCI ヴィジョン

JCI 福山が中心となり、行政、民間団体をつなげることによって、多くの市民の参加を促し、インパクトを与えることができた。

ページ 4

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは、何人？数字で記載してください

25 MEMBERS

By percentage how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は、何パーセントですか？%で記載してください

5% (25/124)

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

総括

会場設営

広報

渉外

会計

ページ 5

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact for this program

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？

フォーラムの参加者に対するアンケート、及び来場者数の増減、運営に関わった人の増減により影響を計りました。

①アンケート集計結果（578人中）

市長と乙武氏の対談を聞いて、協働のまちづくりに関して理解・自覚ができた。

70%（578人中 419名）

乙武氏の講演を聞いて、能動的に動けば変革することが出来ると感じた。

90%（578人中 525名）

②参加者は事業全体で昨年より 276名増加し、2,420名の来客があった。

1日目の分科会には 377名の来場があった。（前年 254名）

2日目の講演には 2,043名の来場があった。（前年 1,890名）【この数字は会場が満席になる程の数である。】

③フォーラムの運営に関わった人数は 50名より 66名へ増加しました。

**Describe the actual community impact produced by this project**

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください

ACTIVE CITIZEN による能動的な地域発展

ページ 6

Impact on Local Organization LOMへの影響

**How did the Local Organization benefit from running this project?**

どのようにLOMは、この事業を運営することから利益を得たか？



LOM メンバーはまちづくり（CD）の大切さを参加者と考えることでまちづくり（CD）の大切さと難しさ、継続の意義を理解した。

**How did the program advance the JCI Mission?**

どのように J C I ミッションを推進したのか？

LOM メンバーは ACTIVE CITIZEN を創造する過程で自らもより能動的に動けるポジティブチェンジを遂げた。

ページ 7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

**What is the expected long-term impact of this project?**

このプロジェクトの期待される長期的な影響は、なんですか？

より多くの市民が ACTIVE CITIZEN になることによる継続的な地域発展を目指して活動していく。

その為に、我々は、より多くの市民の方が参加できるように機会を提供する。

我々は、このフォーラムを継続的に実施していく。

継続的に実施されることによって、下記のような影響がある。

現在連携している団体以外、より多くの市民がポジティブチェンジできる機会となる。

ACTIVE CITIZEN によって、地域の価値を上昇する。

ポジティブチェンジした市民が中心となって、新たな機会をつくる。

**What changes Would you make to improve the results of this project?**

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

より多くの市民が参加して、ACTIVE CITIZEN を創造するために

- ①継続的に実施する。
- ②広報により力を注ぎ参加者を増やす。
- ③講演内容を充実させる。
- ④より多くの団体と連携する。